

## 地域に生きづく国有地（1）中目黒公園

（国有地は、国の庁舎等から地域に役立つ施設等に姿を変えて、地域貢献しています。）

### 中目黒公園

【東京都目黒区中目黒 2-283-17 外 22,074 m<sup>2</sup>】



健康とスポーツの広場・  
原っぱ等



花とみどりの学習館・  
みんなの花壇



### 《財産の沿革》

この地は、もと国の金属材料技術研究所でしたが、平成7年に同研究所が茨城県つくば市に移転後、財務局が利活用を検討する中、目黒区の要請を受け、公園敷地として利用（売却・無償貸付）いただくべく諸手続き（国有財産関東地方審議会の了承を得る等）を経て、平成11年3月19日付で目黒区と契約したものであります。

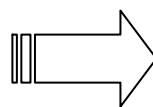
### 《公園の概要》

- ・平成14年3月31日開園、整備費4億2700万円
- ・花とみどりの学習館利用者数・・・年間約3万人
- ・イベント参加者・・・年間約1.5万人（平成22年度）
- ・コンセプト・・・住民参加で公園計画の検討を重ね、大勢のボランティアと区の協働で運営する公園であり、農薬等を使わず植物を種から育てるといった身近な自然の営みを大切に「生命循環型公園」を目指しています。
- ・公園一帯が広域避難場所（約10万人収容）として東京都からの指定を受けています。

### 《地域への貢献・効果(区担当の方への取材より)》

- ・この地で収穫された無農薬野菜を中目黒公園祭、たき火やきいも体験等を開催して区民に還元したり、少年サッカー、防災訓練等のイベントも多数開催されており、公園ボランティアや地域住民が運営に積極的に参加しています。
- ・開放感のある閑静な憩いの場として親しまれています。手入れの行き届いた芝生広場やストリートバスケット、サッカーのできる広場も整備されており、幅広い年齢層が訪れるいつもきれいで安心な公園として人気があります。

当時(平成8年頃)



現在(全景)

